

## 「1540 決議のテロ対策上の意義」

防衛大学校総合安全保障研究科・国際関係学科教授

宮坂直史

### 1) 国連のテロ対策の流れの中で

- ・ 1990 年代、テロ行為に関与した特定の国家への制裁 リビア、スーダン
- ・ 1999 年 安保理決議 1267 アルカイダ=タリバーン制裁委員会&モニタリングチーム
- ・ 2001 年 安保理決議 1373 1373 委員会 (CTC) & CTED
- ・ 2004 年 安保理決議 1540 1540 委員会&専門家グループ
- ・ 2006 年 国連グローバル・テロ対策戦略採択 CTITF による決議案実施の検証  
加盟国に宿題、レポート疲れか。

### 2) 1540 決議の背景と特徴

#### 背景

- ・ NBC の拡散・不拡散、特にテロリストへの拡散懸念
- ・ パキスタン、カーンネットワーク

決議内容：すべての加盟国が実施する 3 つの決定事項

- ① 国家による NBC テロ支援の禁止。
- ② NBC テロ活動を禁じる法の制定と執行。
- ③ 国内管理措置と実施（防護措置、不正取引対処、輸出管理など）

#### 全般的な特徴

- ・ テロリストなど非国家主体への NBC 拡散防止、処罰を求める。
- ・ 安保理決議であり、全加盟国を拘束する。
- ・ NBC すべてと、そのテロに関係するほぼあらゆる行為を対象にしている包括性。
- ・ 大学の大教室よりマシンカ レポート提出、採点、きめこまかい支援、再提出、  
締め切り過ぎても辛抱強く待ってくれる。

### 3) 1540 決議の意義

—長期的かつ多層的な取り組みと、グローバルスタンダード化—

- ・ 2006 年 安保理決議 1673
- ・ 2008 年 安保理決議 1810
- ・ 2011 年 安保理決議 1977
- ・ 2012 年 安保理決議 2055
- ・ 各国で進む措置 2011 年末時点で初回レポート未提出国は 25 カ国。  
なぜ提出でき (し) ないのか？ 内戦、破綻国家、テロが無い、優先順位低い、  
技術不足、国内調整不足、国連に否定的感情、理解度…  
克服のための取り組み 各国訪問から、アウトリーチ活動まで。

#### 4) テロ全体の中における CBRN テロ (NBC テロ)

- ・総件数に占める比率は圧倒的に低いが…
- ・モントレールWMD テロデータベース：1900年～現在まで、1100件以上、92組織。
- ・宗教的テロ、分離主義テロ、右翼、左翼、単一争点型テロまで幅広く関与。
- ・剤のチョイスも手法も多彩。
- ・目的もさまざまある（大量殺傷ねらいから、個人の暗殺まで）。
- ・未遂事件、失敗事案も多い。
- ・多領域のテロ対策のなかでも「CBRN テロ対策」は常に重要。  
頻度・確率の問題ではない。事例がバラエティ、手口も変化。しかも、発生したときの被害拡散、心理的動揺、コストなど予測しがたい。  
事案発生（すぐに知覚できるのか）から収束までパターン化しにくい。  
つきまとう誤情報・偽情報、混乱するクライシス・コミュニケーション。
- ・検証すべき近年の事例
  - ◇オウムの BC テロ……果たして今ならどの程度まで準備を隠せるか？
  - ◇炭疽菌手紙テロ事件……実験室、研究室内でのテロ準備を防げるか？
  - ◇イラクでの塩素ガステロ……身近な民生品を使うテロをどう想定するか？
  - ◇千葉県市原市・イリジウム 192 入り容器の盗難……ダーティボム化されたときの被害想定、密輸可能性はどうか。（\*本事案で犯人は捕まっているが）

#### 5) まとめ—テロの動向からみた 1540 決議

- ・より身近な、生活圏に潜在している脅威としての CBRN。意外とルーズな CBRN 管理。
- ・一部のテロリストにとっては魅力的な CBRN。CBRN の中で、はやりすたりはない。
- ・国家支援テロは退潮だが、一部国家機関の勝手な動き、越境組織犯罪や準破綻国家の存在はテロ側に有利。
- ・国内テロのグローバル性、あるいは知らぬ間にプラットフォームになるおそれ。
- ・よって 1540 決議、とくに para 2, para 3 の包括的な規制の意義は大きい。

#### 今後の検証

- ①未遂・摘発事案において、いかなる法制度的改革が役に立ったのか？
- ②CBRN テロの成功事例において、1540 決議に基づく改革の穴はどこだったのか？  
あるいは法制度と執行のギャップ？
- ③シナリオ作成、図上訓練を通じた 1540 関連措置の脆弱性発見。未然防止と X 日後。

<以上の内容に多少関係する報告者のペーパー>

- ◇宮坂直史「第1章 国連のテロ対策」、廣瀬佳一・宮坂編著『対テロ国際協力の構図』ミネルヴァ書房、2010年。1970年代から今日までの国連の取り組みを述べたもの。
- ◇宮坂直史・鶴飼進著『実践危機管理 国民保護訓練マニュアル—テロ対策訓練の進め方』ぎょうせい、2012年。過去の CBRN テロから学ぶこと、現在の訓練の問題点など。